

OUTLOOK:

バグダッド 日誌 (6月21日)

○ロス五輪柔道選手 米陸軍 [redacted] (安産名: 沖縄によくある名前)

昨日食堂(DFAC)で、ある日系の米陸軍大佐が私と [redacted] に話しかけてきた。「私は防研50期一般課程を卒業しました。」と完璧な日本語である。この [redacted] は北部方面総監部で米軍連絡官も努めた経験があり、自衛官がバグダッドで勤務しているのを見て、多少驚いた様子で、また饑かしそうに語りかけてきた。

一緒に食堂の席に着き食事を始めたが、まず私の耳が潰れているのに気づいて、「柔道か、ラグビーをしていたのですか？」と質問された。「柔道です。」と答えると一気にうち解けた。[redacted] はロス・アンジェルス・オリンピックで柔道65Kg以下級の米国代表で出場しており、国民栄誉賞の柔道・山下氏(ロス五輪金メダリスト)とも知り合いだそう。柔道選手現役当時は名門東海大学、明治大学や警視庁に何度も練習に行ったという。また防衛大学の柔道部OBについても何人も知っていた。特に北部方面総監部勤務当時の名前は忘れてしまったけれども、素晴らしい柔道家と良い酒飲み仲間だったという。恐らく師団長になっているはずだと言われ、思いつく名前を言ってみてくれという。「先輩？」といったが「違う」と言われ、「頭は、バーコードだ！」(本人のコメントのまま) すかさず「先輩」(すみません)と答えると「その通りだ！」と言う。

また9次群長の小野寺1佐とも米国ヤキマ演習場の調整をして良く知っていると言う。世界は本当に狭いものである。この [redacted] はキャンプ・ヴィクトリーから東15kmに位置するインターナショナル・ゾーンで勤務されている。昨日は会議参加のため偶然ここに来ていたようだ。MNSTC (Multi-National Security Transition Corp) というイラク警察を育成する部署で勤務しており、バグダッドに到着して1ヶ月前が過ぎたという。派遣期間は1年だそう。今年の12月までにイラク警察が責任を果たせるまでに育成できないと「切腹」ものなのだと言っている。その仕草がまた堂に入っていて面白い。お互いにすっかり意気投合し、時が経つのを忘れて話していると、食堂を管理している米陸軍軍曹が申し訳なさそうに「そろそろ食堂を閉める時間なのですが…」と指導されてしまった。

ともあれ人の縁の深さにつくづくと感動し、また日本隊の素晴らしい理解者を得て勇気百倍である。